

令和 8 年度
教育学部
学校推薦型選抜 I
学生募集要項

令和 7 年 9 月



令和8年度福井大学教育学部学校推薦型選抜Ⅰ 日程の概要



〈注意事項〉

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
【福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>】
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。

目 次

I. アドミッション・ポリシー（教育学部）	1
1. 教育学部で養成する人物像	1
2. 求める学生像	1
3. 入学者選抜の基本方針	1
「感染症に関する注意事項について」	4
II. 学校推薦型選抜 I（大学入学共通テストを課さない）	
1. 募集人員及び出願資格	5
2. 出願における留意事項	5
3. 被推薦者数及び推薦要件	5
4. 出願方法	6
5. 障がいのある入学志願者等の事前相談	11
6. 選抜方法等	12
7. 合格者発表	15
8. 入学手続	15
9. 不合格となった場合の取扱い	16
III. 個人情報の利用	17
IV. 入学志願者のための案内	18

I. アドミッション・ポリシー（教育学部）

（１）教育学部で養成する人物像

公教育の担い手として多様な人々と協働できる人
教科・領域の専門性を横断的、系統的に身につけている人
学識に支えられた指導力により子どもたちの学習・発達を支援できる人
生涯にわたって学び続けることができる人

（２）求める学生像

（２－１）求める学生像

高等学校などで身につけた基礎学力の上に立って、主体的・協働的に学ぶことができる人
人間の教育や心理に興味を持ち、初等・中等教育における各教科の教育に強い関心を抱いている人
子どもの成長を支えられる豊かな人間性と優れたコミュニケーション能力を有している人
教育への情熱や探究心を持ち、学校を中心とする地域・社会の諸課題に積極的に取り組んでいこうとする人

（２－２）入学前に学習しておくことが期待される内容

教育学部では、各自が専攻する教科・領域のみならず、高等学校段階までに学習する基礎的な知識・技能が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また、学修の過程では、ものごとを多面的にとらえ、地域や学校における実践コミュニティの一員として、地域に参画し、他者と協働し、生涯にわたって学び続ける主体性も求められます。これらのことから、高等学校段階では、各教科内容はもとより、他者との協働的な活動などそれ以外についても幅広く学習し、視野を広げておくことを期待します。

（３）入学者選抜の基本方針

【一般選抜（前期日程）】

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、文系型・理系型の選抜では、選抜区分に応じた教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。実技型（音楽）の選抜では、実技検査、実技型小論文及び個人面接を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。実技型（体育）の選抜では、実技検査、実技型小論文を実施し、専門分野の学習に必要な知識・技能及び意欲を評価します。

【一般選抜（後期日程）】

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、教育、文化、科学・技術、人間の発達に関わる課題を扱った小論文を課し、専門分野の学習に必要な論理的思考力や表現力を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅰ】（大学入学共通テストを課さない）

○高大接続型（嶺南地域枠）

調査書、推薦書、志願理由書等により初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーションを含む。）と集団討論により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○実技型（技術）

調査書、推薦書、志願理由書等により技術科で学ぶ者に求められる資質・能力、適性を評価します。また、実技検査、実技型小論文及び個人面接により、基礎的技能の程度と技術教育への興味・関心、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○実技型(音楽)

調査書、推薦書、志願理由書等及び個人面接により、音楽及び音楽教育に対する理解や意欲について評価します。また、実技検査では、新曲視唱及び選択課題（ピアノ、声楽、管弦打楽器）により、表現の技能及び音楽性を評価します。

【学校推薦型選抜Ⅱ】(大学入学共通テストを課す)

○面接型(総合)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーションを含む。）により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○面接型(特別支援)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等により、特別支援教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーションを含む。）により、目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

○面接型(家庭)

基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。調査書、推薦書、志願理由書等により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性を評価します。また、個人面接（プレゼンテーションを含む。）により、家庭科教育に対する目的意識や意欲、論理的思考力を評価します。

【総合型選抜Ⅰ(高大接続型入試)】(大学入学共通テストを課さない)

○実技型(美術)

プレゼンテーション（プレゼンテーションの資料作成・口頭発表）と提出書類（調査書、志願理由書、自己推薦書等）により、初等及び中等教育を学ぶための資質、適性、および基礎学力を総合的に評価します。また、実技検査（基礎的な造形力を素描にて考査）と個人面接により、教育の諸課題に主体的に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。

入試区分	評価方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜(前期) 文系型・理系型	大学入学共通テスト	○	○	
	教科・科目に係る 個別テスト	○	○	
	調査書			○
一般選抜(前期) 実技型(音楽)	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	実技型小論文	○	○	
	個人面接	○	○	○
	調査書			○

一般選抜(前期) 実技型(体育)	大学入学共通テスト	○	○	
	実技検査	○	○	
	実技型小論文	○	○	
	調査書			○
一般選抜(後期) 統合型	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	調査書			○
学校推薦型選抜Ⅰ 高大接続型 (嶺南地域枠)	個人面接(プレゼンテーションを含む。)	○	○	○
	集団討論	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
	資料 ¹	○	○	○
学校推薦型選抜Ⅰ 実技型(技術)	実技検査	○	○	
	個人面接	○	○	○
	実技型小論文	○	○	
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦型選抜Ⅰ 実技型(音楽)	実技検査	○	○	
	個人面接	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦型選抜Ⅱ 面接型(総合)	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接(プレゼンテーションを含む。)	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
学校推薦型選抜Ⅱ 面接型 (特別支援)	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接(プレゼンテーションを含む。)	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○

学校推薦型選抜Ⅱ 面接型（家庭）	大学入学共通テスト	○	○	
	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
総合型選抜Ⅰ 実技型（美術）	資料 ²	○	○	○
	実技検査	○	○	
	個人面接（プレゼンテーションを含む。）	○	○	○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
	自己推薦書		○	○

○ 重視する

資料¹ 高等学校時代の取り組みや活動を説明する資料

資料² 高等学校等での取り組みとその成果に関するレポートや作品資料

「感染症に関する注意事項について」

試験当日に、学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので、受験は認められません。ただし、症状により学校医、その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは、この限りではありません。万全の体調で試験に臨めるよう、感染予防対策を励行し、自己の健康管理を徹底するように注意してください。

なお、上記理由により受験できなかった場合、追試験は実施せず、検定料の返還も行いません。

※感染症の状況に応じて変更する場合があります。変更となった場合は、福井大学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。

Ⅱ. 学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）

1. 募集人員及び出願資格

課程	選抜区分	コース	募集人員	出 願 資 格
学校教育課程	高大接続型 (嶺南地域枠)	初等教育コース	6人	次の各号のいずれかに該当する者 (1) 高等学校（特別支援学校の高等部含む。）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年3月に卒業見込みの者 (2) 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和8年3月に修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程若しくは相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者若しくは令和8年3月に修了見込みの者
		中等教育コース	4人	
	実技型 (技術)	中等教育コース	2人	
	実技型 (音楽)	中等教育コース	2人	
	計	初等教育コース	6人	
		中等教育コース	8人	

- (注) 1. 選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。
2. 入学手続者数が募集人員に満たない場合は、一般選抜（前期日程）からその不足分を充当します。
3. 高大接続型（嶺南地域枠）の選抜区分においては、初等教育コースの志願者は中等教育コースを第2志望とし、中等教育コースの志願者は初等教育コースを第2志望とすることができます。

2. 出願における留意事項

高大接続型（嶺南地域枠）の選抜区分の志願者は、以下のことに留意して出願してください。

- ・小学校と中学校の教員免許又は、小学校と特別支援学校の教員免許の取得を目指す者であること。
- ・入学手続の際に、「教育学部嶺南地域教育プログラム履修申請書」を提出すること。なお、入学後の履修辞退は原則認められません。
- ・「教育学部嶺南地域教育プログラム」における嶺南地域での体験活動・教育実習にかかる交通費や宿泊費等は、基本的に自己負担となります。

3. 被推薦者数及び推薦要件

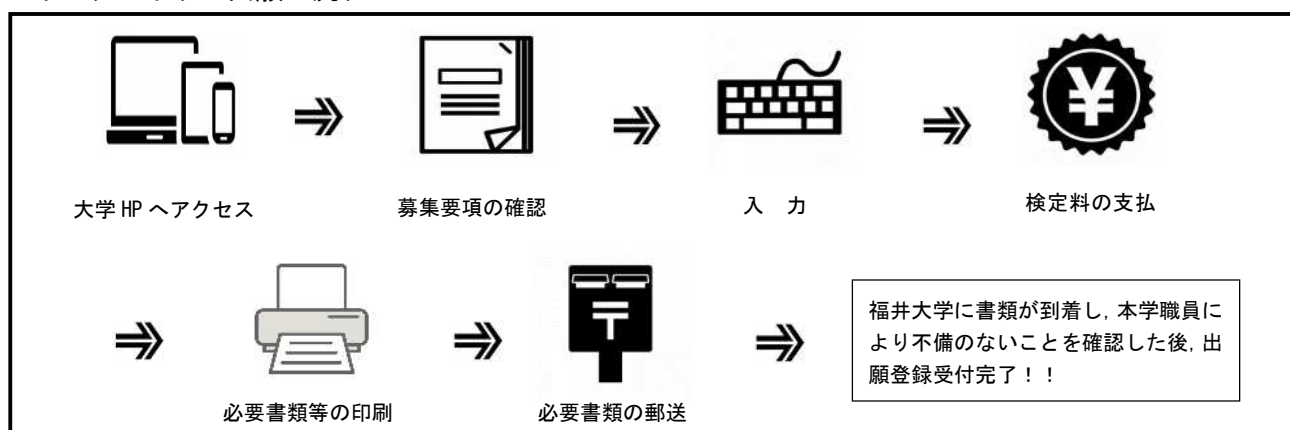
課程	選抜区分	コース	1校あたりの被推薦者数	推薦要件	調査書の全体の学習成績の状況
学校教育課程	高大接続型 (嶺南地域枠)	初等教育コース	制限なし	出身学校長が次の各号のすべてに該当すると認める者 (1) 本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 嶺南地域の教員となることを強く希望する者 (4) 合格した場合は入学を確約できる者	4.3以上の者が望ましい
		中等教育コース			

	実技型 (技術)	中等教育コース	原則として 2人以内	出身学校長が次の各号のすべてに該当すると認める者 (1) 本課程・コースの学生となるのに特にふさわしい意欲・資質・適性等を備えている者 (2) 学業成績が優秀な者 (3) 合格した場合は入学を確約できる者	3.5以上の者が望ましい
	実技型 (音楽)	中等教育コース	2人以内		3.5以上の者

(注) 国公立大学の学校推薦型選抜についての推薦は、志願者の属する出身学校長（高等学校長等）がこれを行い、1人の志願者について1つの年度における推薦は、大学入学共通テストを課すもの及びこれを課さないものを含めて、1つの大学・学部に限るものとします。ただし、1つの大学・学部の同一の学校推薦型選抜募集単位（学科・課程・専攻等）について、大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜の合格者発表後に、更に、大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜を実施する場合について、前者の不合格者を後者の被推薦者とする場合は、その推薦を認めます。

4. 出願方法

○インターネット出願の流れ



インターネット出願により行います。出願完了には下記 ①～④ のすべての手続が必要です。

インターネット出願サイトへは、福井大学ホームページ<<https://www.u-fukui.ac.jp/>>「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「インターネット出願」<<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-fukui/>>からアクセスできます。

No.	手 続	備 考
①	インターネット出願サイトでの出願情報の入力	出願情報入力可能期間： 令和7年10月28日（火）9時～11月7日（金）16時 ＊出願期間とは異なります。 （「出願情報入力可能期間」の内、「出願期間」前に入力した場合であっても、「出願期間」開始後に必ず出願書類を本学に郵送し、受付を完了してください。）
②	検定料の支払い	検定料 17,000 円（別途支払手数料が必要です。） 検定料の詳細は、10・11 ページの「(3) 検定料の支払方法」を参照してください。

③	出願書類等の印刷	出願情報入力及び検定料の支払い後にダウンロードする書類は全て白色のA4用紙にカラーで印刷してください。
④	出願書類等の郵送	市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に、インターネット出願サイトから印刷した宛名ラベルを貼り、簡易書留速達郵便で郵送してください。 (郵送先) 〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

(注) インターネット出願サイトでの出願情報の入力及び検定料の支払を行っただけでは出願手続完了とはなりません。出願期間内に、出願書類を郵送(最終日16時必着)することで完了します。

(1) 出願期間 令和7年11月4日(火)～7日(金)(最終日16時までに必着)(※)

書類の提出は、郵送(簡易書留速達)するものとし、出願手続期間内に必着とします。持参による出願は認めません。出願書類到着の照会には応じません。

インターネット出願サイトでの入力は、令和7年10月28日(火)9時から可能です。

(※) 期限後に到着した出願書類のうち、出願期間最終日2日以前の日付印のある簡易書留速達郵便に限り受理します。

(2) 出願書類等

出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更及び検定料の返還には応じません。

出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。

出願書類等の偽造、虚偽記載、剽窃、その他選抜の公平性を損なう不正な行為が認められた場合には、出願を取り消します。また、出願受理後または入学後に書類等に不正があることが明らかになった場合には、出願受理または入学許可を取り消します。なお、この場合、検定料及び入学料は返還しません。

○インターネット出願サイトから印刷するもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
出願確認票 (提出用)	出願情報の入力後、申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷し、提出してください。 (注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。 出願確認票は、検定料の支払い及び証明写真のアップロードが完了しないと印刷できません。
出願封筒用 宛名ラベル	出願情報の入力後、申込確認ページよりA4サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください(普通紙印刷でのり付け可)。 (注) 印字されている内容に誤りがないか確認してください。 また、出願後、住所等が変更となった場合は、速やかに連絡してください。封筒は、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を使用し、簡易書留速達で郵送してください。

○インターネット出願サイトでアップロード作業が必要なもの

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
証明写真データ	出願情報の入力及び検定料支払後、登録完了メールに記載されているURLから、志願者本人の顔写真のアップロードを行ってください。 (注) 志願者本人と判別できるもので、カラー・上半身・無帽・正面向き・無背景・出願前3ヶ月以内に撮影した 100KB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。

○その他必要な出願書類

選抜区分：高大接続型（嶺南地域枠）

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを同封してください。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響による、大会や資格・検定試験の中止・延期等を踏まえ、出席日数、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、志願者を不利益に取り扱うことはありません。
推薦書 (様式1)	本学ホームページ<https://www.u-fukui.ac.jp/>「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで両面印刷の上、出身学校長が作成してください。様式の改変はしないでください。 <作成上の注意> 次の項目について、「求める学生像（1ページ参照）」に該当することがわかるように具体的事実をあげて作成してください。 なお、パソコン等の使用も可としますが、機械印字文書を貼り付ける場合は、学校印等で割印してください。 ア. 学業 - 授業中の活動状況、勉学の自発性・計画性・持続性、探求心、観察力、理解力、洞察力、解決力及び論理的、創造的能力等につき、なるべく具体的事実をあげての所見 - 本人を推薦される根拠となった学業上の特別の事由及び志望するコースに対する勉学意欲等 イ. 課外活動 - ホームルーム内での役員、生徒会の役員、体育祭・文化祭の実行委員歴等があれば、その学年、役職名及び活動状況 - 所属クラブ、クラブ内の本人の役割及び活動状況（例えば、都道府県大会での入賞、全国大会等での発表、出場、入賞及びその他高校生の年代での優れた研究・活動成果、あるいはこれら大会での組織者としての活動等の具体的内容） - 学校のクラブ活動以外での教育、文化、芸術、スポーツ（各種競技等の都道府県大会の入賞、全国大会等での出場、入賞及び文学・芸術作品の発表、入選等の活動）に関する活動があれば、その活動内容や加入団体名等 - ボランティア等の奉仕活動 ウ. 人物・適性 - 人物・性格について、本人の特性（例えば、向上心、自律能力、社会性

	等)をよく表現するような具体的事実 ・ 本人の志望コースに対する適性及び意欲等 エ. 特記事項 ・ 志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記載してください。その際、志願者の努力を要する点などについても、その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記載してください。
志願理由書 (様式2)	本学ホームページ<https://www.u-fukui.ac.jp/>「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで両面印刷の上、志願者本人が必ず自書してください。 <作成上の注意> 「求める学生像(1ページ参照)」に該当することがわかるようにできるだけ詳しく記入してください。
高校時代の取り組みや活動を説明する資料 (様式: 任意)	高校時代の取り組みや活動を説明する資料(図表や写真を使用してもよい)をA4用紙の2枚の裏表を自由に使用して作成してください。様式は任意ですが、用紙に志願学部・コース、氏名(フリガナを付ける)を記載してください。 なお、この資料を用いながら、約6分間のプレゼンテーションを行うことになります。

(注) やむを得ない事由により調査書が得られない場合は、出願資格を証明する書類及び単位修得証明書等をもって調査書に代えることができます。ただし、出願前に本学学務部入試課に問い合わせて確認してください。

選抜区分：実技型（技術），実技型（音楽）

出 願 書 類 等	留 意 事 項 等
調査書	文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを同封してください。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響による、大会や資格・検定試験の中止・延期等を踏まえ、出席日数、特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、志願者を不利益に取り扱うことはありません。
推薦書 (様式1)	本学ホームページ<https://www.u-fukui.ac.jp/>「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで両面印刷の上、出身学校長が作成してください。様式の改変はしないでください。 <作成上の注意> 次の項目について、「求める学生像(1ページ参照)」に該当することがわかるように具体的事実をあげて作成してください。 なお、パソコン等の使用も可としますが、機械印字文書を貼り付ける場合は、学校印等で割印してください。 ア. 学業 ・ 授業中の活動状況、勉学の自発性・計画性・持続性、探求心、観察力、理解力、洞察力、解決力及び論理的、創造的能力等につき、なるべく具体的事実をあげての所見 ・ 本人を推薦される根拠となった学業上の特別の事由及び志望するコースに対する勉学意欲等

	イ. 課外活動 ・ ホームルーム内での役員，生徒会の役員，体育祭・文化祭の実行委員歴等があれば，その学年，役職名及び活動状況 ・ 所属クラブ，クラブ内の本人の役割及び活動状況（例えば，都道府県大会での入賞，全国大会等での発表，出場，入賞及びその他高校生の年代での優れた研究・活動成果，あるいはこれら大会での組織者としての活動等の具体的内容） ・ 学校のクラブ活動以外での教育，文化，芸術，スポーツ（各種競技等の都道府県大会の入賞，全国大会等での出場，入賞及び文学・芸術作品の発表，入選等の活動）に関する活動があれば，その活動内容や加入団体名等 ・ ボランティア等の奉仕活動 ウ. 人物・適性 ・ 人物・性格について，本人の特性（例えば，向上心，自律能力，社会性等）をよく表現するような具体的事実 ・ 本人の志望コースに対する適性及び意欲等 エ. 特記事項 ・ 志願者の学習や活動の成果を踏まえた「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」に関する評価を記載してください。その際，志願者の努力を要する点などについても，その後の指導において特に配慮を要するものがあれば記載してください。
志願理由書 (様式2)	本学ホームページ<https://www.u-fukui.ac.jp/>「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」よりダウンロードした所定の様式をA4サイズで両面印刷の上，志願者本人が必ず自書してください。 <作成上の注意> 「求める学生像（1ページ参照）」に該当することがわかるようにできるだけ詳しく記入してください。
実技型（音楽） 受験者のみ	「6. 選抜方法等（12～15 ページ）」を参照し，楽譜，伴奏譜等を提出してください。

- (注) 1. やむを得ない事由により調査書が得られない場合は，出願資格を証明する書類及び単位修得証明書等をもって調査書に代えることができます。ただし，出願前に本学学務部入試課に問い合わせ確認してください。
2. 「本人の記載する資料」として，志願理由書の他，高大連携に関連した行事やイベントに参加した時の学びの形跡がわかる資料がある場合には，資料の一部として提出してもかまいません。
3. 参考資料として，留学，国際交流活動，スポーツ活動，文化・芸術活動，取得した資格などを証明するような資料（新聞報道等の写し，音楽会等のプログラム，作品の写真等）がある場合には，代表的なものを3点まで（大きさはA4サイズ）提出してください。資料は，重ねて貼り付けないでください。

(3) 検定料の支払方法

- 1) 検定料 17,000 円
- 検定料の他に，支払手数料が必要です。

2) 支払期間

令和7年10月28日(火)～11月7日(金)＊出願期間とは異なります。

ただし、出願書類等は検定料支払い後に郵送が必要であり、出願期間最終日16時までに必着であることに特に注意して早めに支払ってください。

3) 支払方法

コンビニエンスストア、銀行ATM(Pay-easyでの支払)、クレジットカード(VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club)及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。

(注) 1. 銀行窓口での支払いはできません。

2. コンビニエンスストアに設置されている銀行ATMでの支払いはできません。

3. クレジットカード及びネットバンキングの名義は、志願者と同一である必要はありません。

4. 支払手数料は、志願者本人の負担となります。

○ 検定料の返還に関する留意事項

出願書類を受理した後は、次の場合を除き、いかなる理由があっても支払済の検定料は返還しません。

ア. 検定料の全額返還請求ができる場合

- ・ 検定料支払い後、出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合
- ・ 検定料を誤って二重に支払った場合

イ. 検定料の返還請求の方法

本学ホームページ<<https://www.u-fukui.ac.jp/>>「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「入学検定料返還・免除請求」より所定の様式をダウンロードし、A4サイズで印刷して必要事項をもれなく記入した上で、必ず「出願確認票(提出用)」を添付して、令和8年3月31日(火)17時までに本学学務部入試課へ提出してください。

※様式は必ず該当のものを使用してください。記入もれがある場合は受付できませんので注意してください。

提出(送付)先 〒910-8507

福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

電話：0776-27-9927

(4) 受験票の印刷

令和7年11月10日(月)9時～12月1日(月)に、インターネット出願登録サイトより受験票の印刷が可能になります。申込確認画面からログインし、白色のA4用紙にカラーで印刷してください。

試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。なお、氏名等に間違いがある場合には、本学学務部入試課(電話：0776-27-9927)へ連絡してください。

5. 障がいのある入学志願者等の事前相談

本学入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、以下のとおり本学学務部入試課(電話：0776-27-9927)に事前相談の申請をしてください。

また、期限後にやむを得ない事情等により申請が必要となった場合には、直ちに電話等により相談してください。

(1) 事前相談の締切日

令和7年10月21日(火)まで

(2) 事前相談の申請方法等

本学ホームページ<<https://www.u-fukui.ac.jp/>>「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

6. 選抜方法等

受験者は、本学受験票と筆記用具等を持参し、受付場所に集まってください。

選 考 日 令和7年11月15日(土)

受付時間 8時～8時30分

(なお、受験者数によっては、午前と午後に分ける場合があります。その際には、別途通知します。)

受付場所 総合研究棟V(教育系1号館)1階

<試験科目及び試験開始時刻>

課程	選抜区分	コース	試 験 科 目	試験開始時刻
学校教育課程	高大接続型 (嶺南地域枠)	初等教育コース	集団討論及び個人面接(約6分間のプレゼンテーションを含む。)	9時～
		中等教育コース		
	実技型 (技術)	中等教育コース	実技検査(約60分間)、 実技型小論文(約40分間)及び 個人面接	
	実技型 (音楽)	中等教育コース	実技検査及び個人面接	

選抜区分：高大接続型(嶺南地域枠)

調査書、推薦書、志願理由書等、集団討論及び個人面接(プレゼンテーションを含む。)を総合して選抜します。

*集団討論の後、プレゼンテーション(約6分間)を実施し、引き続き個人面接を行います。なお、集団討論のテーマは、当日提示します。

選抜区分：実技型(技術)

調査書、推薦書、志願理由書等、実技検査、実技型小論文及び個人面接を総合して選抜します。

◎実技型(技術)の実技検査内容

ものづくり及びコンピュータ操作に関する実技

*必要な機材及び道具は、本学で準備します。

作業しやすい服装(運動着など)を持参してください。

◎実技型(技術)の実技型小論文概要

実技検査を試験開始後に約60分間実施し、その後、約40分間その実技に関連する内容の小論文を課します。

選抜区分：実技型（音楽）

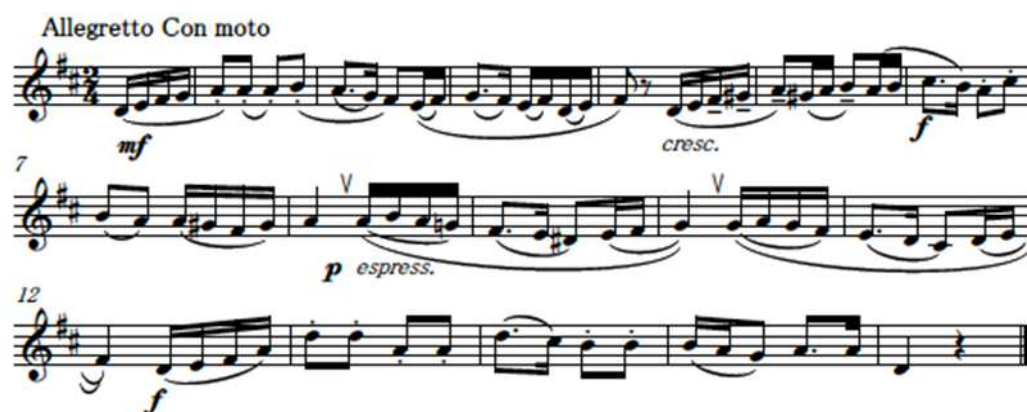
調査書、推薦書、志願理由書等、実技検査及び個人面接を総合して選抜します。

◎実技型（音楽）の実技検査内容

ア．新曲視唱

当日提示された楽譜をその場で演奏する。母音唱又は「ラ」等、階名唱（移動ド、固定ド）いずれも可とする。

※「新曲視唱」課題例（これは参考例であり、実際に実技検査で出題されるものではない。）



イ．選択課題（A群①，A群②，B群，C群のいずれか1つを選択する。）

【A群①】ピアノを主とし，声楽を副とする

（1）ピアノ実技

下記の①②のピアノ曲2曲を暗譜で演奏

① 任意の独奏曲。

② 次の（a），（b）いずれか1曲を選択して演奏

（a）練習曲：ツェルニー40番程度以上の練習曲（ショパン，リスト，ドビュッシー等を含む）から任意の曲

（b）バッハ：シンフォニアまたは平均律クラヴィア曲集から任意の曲
ただし，平均律はフーガのみ演奏

注1：出願時に必ず楽譜を添付のこと。

2：いずれも繰り返しは省略すること。

3：途中で演奏を止めることがある。

（2）声楽実技

コンコーネ50番集より1番～20番までのうち当日指定する1曲を演奏

注1：高声用，中声用，低声用のいずれを選択してもよい。

2：暗譜の必要はない。自分の使用する楽譜を当日持参すること。

3：伴奏は伴奏担当者が行う。伴奏譜は本学で用意する。

4：演奏の前におおよそのテンポを伴奏担当者に口頭で示すこと。

5：母音唱又は「ラ」等，階名唱（移動ド，固定ド）いずれも可とする。

【A群②】ピアノを主とし、管弦打楽器を副とする

(1) ピアノ実技

A群①の(1)ピアノ実技と同じ。

(2) 管弦打楽器実技

演奏楽器は、オーケストラ、吹奏楽で通常使用される楽器に限る。楽器は各自持参してください。(判断が難しい場合は問い合わせをしてください。)

任意の1曲を演奏すること。

注1：伴奏はなしで演奏すること。出願時に必ず楽譜を添付のこと。

2：繰り返しは省略すること。

3：途中で演奏を止めることがある。

【B群】声楽を主とし、ピアノを副とする

(1) 声楽実技

芸術的歌曲2曲(日本歌曲、オペラまたはオラトリオのアリアも可)を暗譜で演奏

注1：伴奏は伴奏担当者が行うため、出願時に必ず伴奏譜を添付のこと。

2：譜めくりの必要がないように伴奏譜を横一列(屏風型)に貼り合わせておくこと。

3：楽譜にはおおよそのテンポをメトロノーム記号(♩=60等)で記しておくこと。

4：外国語の歌曲については原語で演奏すること。歌曲の調性は出版されている楽譜に掲載されている調であれば自由(手書き、パソコンによる移調は不可)。アリアについては原調・原語で演奏すること。ただし、イタリア古典歌曲のアリアについては、その限りではない。

(2) ピアノ実技

古典派のソナチネ、ソナタより任意の1曲の第1楽章又は終楽章(緩徐楽章を除く)を暗譜で演奏

注1：出願時に必ず楽譜を添付のこと。

2：繰り返しは省略すること。

3：途中で演奏を止めることがある。

【C群】管弦打楽器を主とし、ピアノを副とする

(1) 管弦打楽器実技

演奏楽器は、オーケストラ、吹奏楽で通常使用される楽器に限る。楽器は各自持参してください。(判断が難しい場合は問い合わせをしてください。)

任意の1曲を演奏すること。

注1：伴奏はなしで演奏すること。出願時に必ず楽譜を添付のこと。

2：繰り返しは省略すること。

3：途中で演奏を止めることがある。

(2) ピアノ実技

B群(2)のピアノ実技と同じ。

＜大型楽器の搬入・組み立てについて＞

受験に際しては、基本的に受験者が自ら持参し、組み立て設置してください。楽器の搬入・組み立てに要する時間・経路等を確認するため、必ず期限までに本学学務部入試課（電話：0776-27-9927）に問い合わせをしてください。

なお、事前に申し出た場合に限り、特別に補助運搬者の付き添いを認めることがあります。詳しくは問い合わせをしてください。

また、やむを得ない事情等により期限を過ぎた場合には、直ちに本学学務部入試課に相談してください。

問い合わせの締切日

令和7年10月21日（火）まで

＜受験上の注意＞

- 1) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻から30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- 2) 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合には、失格となります。
- 3) 計時機能以外の機能をもった時計の使用は認めません。
- 4) 携帯電話、スマートフォン等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手にもっていたりすると不正行為となることがあります。
- 5) 試験終了までは、退室を認めませんが、体調不良になった場合や、トイレ等やむを得ない場合には、挙手して監督者の指示に従ってください。
- 6) 監督者の指示に従わない場合や、不適切な行為のあった者には退室を命じることがあります。
- 7) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（HB又はB）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（HB又はB）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可）、時計、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）、目薬です。
- 8) 試験終了時刻は、受験者により異なります。
- 9) 試験当日等に、駅や試験場周辺で合否電話やメール等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので十分注意してください。

7. 合格者発表

令和7年12月1日（月） 10時

本学ホームページ＜<https://www.u-fukui.ac.jp/>>「受験生の方へ」内に合格者の受験番号を発表するとともに、合格通知書及び入学手続関係書類を郵送します。不合格者への通知は行いません。なお、入試課掲示板での合格者発表（掲示）は行いません。

また、出身学校長には当該校からの志願者全員の結果通知書を郵送します。電話等による合否の問い合わせには、一切応じません。

8. 入学手続

合格者には、合格通知書とともに「入学手続要項」等を送付するので、内容をよく確認して手続を行ってください。

（1）入学手続期間・方法

令和7年12月4日（木）～10日（水） 16時までに必着

- 1) 入学手続書類等は、本学所定の封筒に入れ、本学学務部入試課へ郵送（簡易書留速達）するものとし、入学手続期間内に必着とします。

- 2) 期限後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しないので郵便事情等を考えて早めに送付してください（期限前到着は可，持参提出は不可）。
- 3) やむを得ない事情により期間内に入学手続きができない場合は，必ず事前に福井大学学務部入試課（電話：0776-27-9927）に電話で連絡してください。その後の入学手続きは本学の指示に従ってください。

（２）入学手続き時に要する経費

- 1) 入学料 282,000円（予定額）
- 2) 授業料 前期分 267,900円【年額535,800円】（予定額）

授業料については，入学手続き時に入学料と併せて前期分又は前・後期分を一括して納入することもできます。入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には，改定時から改定後の額が適用されます。入学料・授業料の納入方法は，合格者に送付する「入学手続き要項」で通知します。納入された入学料は，返還しません。

（３）留意事項

- 1) 合格者は，入学手続き期間内に入学手続きを完了してください。
なお，入学手続きを完了しない場合は，本学学校推薦型選抜合格者としての権利を失います。
- 2) 学校推薦型選抜の合格者は，入試の趣旨からみて入学手続きを行い入学するのが当然であることから，前期・後期日程の合格者とはなりません。
入学手続きを完了したときは，これを取り消して，他の国立大学へ入学手続きをとることは認められません。
ただし，特別な事情により入学辞退の必要が生じ，令和7年12月10日（水）15時までに，出身学校長から「学校推薦型選抜入学辞退（様式任意）」（具体的な理由を明記し，本人が署名・押印したもの）を本学学長あてに提出し，入学辞退を許可された者を除きます。
- 3) 学校推薦型選抜の合格者は，他に出願済の大学・学部を受験しても，その大学・学部の合格者とはなりません。
- 4) 学校推薦型選抜合格者は，入学又は入学辞退のいずれの手続きも行わないまま放置することがないように留意してください。
- 5) 高大接続型（嶺南地域枠）の合格者に対し，12月から3月にかけて，入学後の学修にスムーズに取り組むための入学前教育を実施します。

9. 不合格となった場合の取扱い

学校推薦型選抜不合格者は，本学を含む，国公立大学の一般選抜を受験できます。

ただし，この場合は，令和8年度大学入学共通テストの指定教科・科目の受験，一般選抜の検定料の納付や出願書類の提出等，一般選抜出願先が定める手続きが必要です。早めに当該学生募集要項を入手し，志願者本人がその学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。

Ⅲ. 個人情報利用

出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備（学籍管理、履修準備含む）、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。

- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等、行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに、当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で、当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお、この場合には、当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すことになります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を、当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない範囲で、学術研究の目的のために提供する場合
- 4) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、合否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限る）を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に情報提供する場合

なお、出身学校長には、合否を文書で通知します。

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

Ⅳ. 入学志願者のための案内

1. 教育学部の紹介

教育学部には、小学校、特別支援学校、幼稚園などの教員を養成する「初等教育コース」と、中学校、高等学校などの教員を養成する「中等教育コース」の2つのコースがあります。

初等教育コースでは、小中一貫教育や幼少連携教育、地域と連携した教育、特別支援教育など現在の学校教育の課題を解決していく能力を備えた小学校教員、特別支援学校教員を養成します。

また、中等教育コースでは、中高一貫教育などを見据え、高度で体系的な専門知識を持って、主体的で協働的な学習を構想し実践することのできる中学校、高等学校教員を養成します。

○学位及び教員免許状

教育学部学校教育課程の卒業者は学士（教育学）の学位が授与されます。なお、学校教育課程で取得可能な教員免許状は次のとおりです。

コース	サブコース	小学校		中学校			高等学校		特別支援学校		幼稚園	
		1種	2種	1種	2種	免許教科	1種	免許教科	1種	2種	1種	2種
初等教育	小学校教育	◎		○	○	国語、英語、 社会、数学、 理科、技術、 家庭、音楽、 美術、保健体育	○	国語、英語、 地理歴史、公民、 数学、理科、 工業、家庭、 音楽、美術、 保健体育	○	○	○	○
	特別支援教育	◎		○	○		○		◎		○	○
中等教育	人文社会教育	○	○	◎	○		○		○	○		
	理数・生活教育	○	○	◎	○		○		○	○		
	芸術スポーツ教育	○	○	◎	○		○		○	○		

◎卒業要件となっている免許

○必要単位を修得することで、当該免許状を取得できます。

※ただし、所属するサブコースによって取得できる免許状の種類・教科の数には制限があります。

2. 入学時の諸経費

(1) 入学料、授業料

種 別	金 額	備 考
入学料	282,000円 (予定額)	入学時1回限り（入学手続き時に納入）
授業料	年額 535,800円 (予定額)	年2回（前期5月、後期11月）に分けて納入してください。入学手続き時に入学料と併せて前期分267,900円又は前・後期分535,800円を一括して納入することもできます。 なお、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学料・授業料の減免、多子世帯無償化、及び徴収猶予制度について

「大学等における修学の支援に関する法律」により、日本学生支援機構給付型奨学金受給者は、入学料・授業料の全部または一部が免除となります。

また、国の「多子世帯に対する大学等の授業料等無償化制度」が令和7年度からスタートし、多子世帯（扶養する子どもの数が3人以上）の場合、家計の所得制限なく、入学料・授業料が無償化されます。

さらに、経済的理由や特別な事情により入学料及び授業料の納付が困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上、入学料及び授業料の徴収を猶予することがあります。

要件等の詳細は、本学が送付する入学手続要項及び本学ホームページ等をご確認ください。

- ・ 福井大学授業料・入学料免除ページ

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_life/money/exempt/

(2) 保険

教育研究活動中の事故を補償するために、入学時に全員が何らかの傷害保険及び賠償責任保険に加入することを原則としています。

本学では、学生教育研究災害傷害保険（通学特約付）及び学研災付帯賠償責任保険の取り扱いがありますが、その他、大学生協等で同等の傷害保険及び賠償責任保険に加入しても構いません。

3. 学生生活

(1) 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構、福井大学独自及び都道府県・公益法人等の奨学金制度があります。

○ 独立行政法人 日本学生支援機構の奨学金

〈給付型〉

日本学生支援機構が定める基準を満たし、奨学生に採用された場合、「高等教育の修学支援新制度」の支援を受けることができる、原則として返還義務のない奨学金です。世帯の所得金額に基づき判定された支援区分、通学形態（自宅・自宅外）等により、支援額が決定します。

詳細は下記ホームページにて確認してください。

- ・ 文部科学省（高等教育の修学支援新制度）

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

- ・ 日本学生支援機構（奨学金の制度（給付型））

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>

〈貸与型〉

「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」があり、経済状況や学業成績をもとに採用者を決定します。

貸与型の奨学金なので、卒業又は退学後は、必ず返還しなければなりません。

詳細は下記ホームページにて確認してください。

- ・ 日本学生支援機構（奨学金の制度（貸与型））

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/taiyo/index.html>

○ 大学独自奨学金

福井大学基金予約型奨学金、福井大学生協奨学金及び福井大学学生修学支援奨学金等、大学独自の奨学金があります。

詳細は大学ホームページに記載しています。

奨学金の中には、申請期間が入試出願前のものもありますので、希望する場合は、お早めにご確認ください。

- ・ 福井大学奨学金ページ

https://www.u-fukui.ac.jp/cont_life/money/scholarship/

○ 都道府県・公益法人等の奨学金

これらの奨学金については、入学後、奨学生の募集がある場合に随時、学内のポータルサイト等で案内します。

*奨学金制度等を利用する際に、入学試験の成績や出身学校長から提出された調査書を必要とする場合には、各奨学団体等へこれらの情報を提示する場合があります。

(2) 課外活動

正規の教育課程のほかに、学生が豊かな情操を養い、体力を鍛え、将来社会において役立つ経験を積むため、教育の一環としてクラブ活動を認め、かつ、奨励しています。

(3) 健康診断

学校保健安全法に基づき、学生の定期健康診断を、毎年春季に行っています。

また、日々の健康管理のため、保健管理センターがあり、身体面・精神面の悩みについて医師、臨床心理士・公認心理師、看護師、保健師等に相談をすることができます。

(4) 相談窓口

履修、生活、就職、人間関係など学生生活の中でのいろいろな問題について、相談に応じる体制が整っています。

(5) 学生宿舎

本学には、次のような学生宿舎があります（外国人留学生との混在で、男女は階別）。

11月に大学のホームページに入居者募集要項を掲載しますので、入居希望者は内容をよく確認し、入居申請準備をしてください。

名 称	定員	新入生入居募集人員	構 造	室定員	寄宿料	光熱水料等	所 在 地
国際交流学生宿舎	209人	約30人	鉄筋 コンクリート 5階建1棟 4階建2棟	1人 (個室)	月額 5,800円 (予定額)	月額 約10,000円 退去クリーニング費等 約20,000円 (入居時前払い)	〒910-0017 福井市文京5-13-10 (文京キャンパスから徒歩約10分)

※寄宿料については改定（値上げ）する場合があります。

(6) 福井大学生生活協同組合

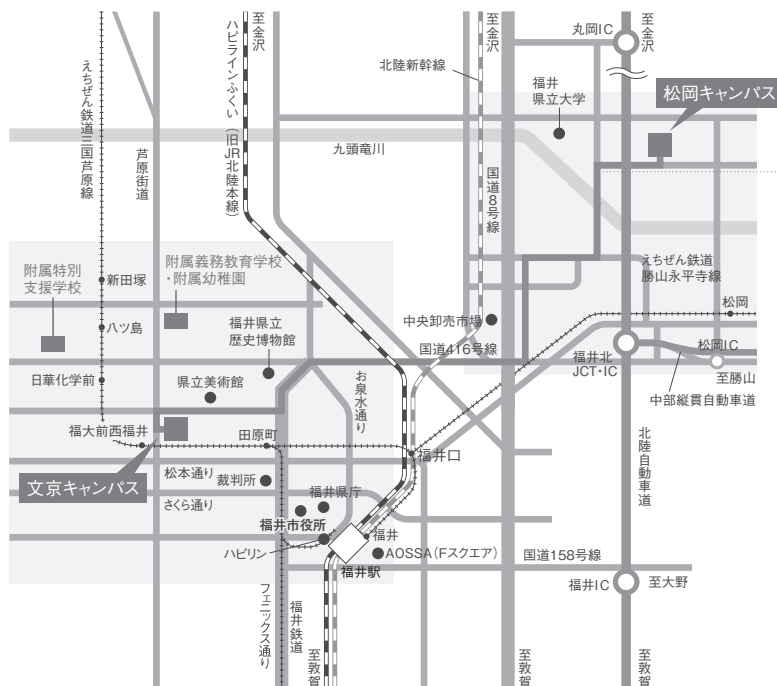
学生のために住まい（下宿・アパート等）の紹介をしています。よりよい学生生活のために食堂や購買、書店（教科書等）の福利厚生施設があります。

詳細は、福井大学生生活協同組合（電話：0776-21-2956）に問い合わせてください。



<福井大学生生活協同組合公式 LINE>

福井大学位置図



両キャンパスを結ぶ連絡バスで移動できます。(約30分)



■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路

- 鉄 道 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀 IC から敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路

- バ ス 福井駅ー(約10分)ー福井大学前下車
[福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄 道 えちぜん鉄道福井駅ー福井大学前下車
[福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅ー(約10分)ー福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・IC から国道416号線で西へ約7km
福井 IC から国道158号線で西へ約8km

■松岡キャンパス【医学部】への経路

- バ ス 福井駅ー(約35分)ー福井大学病院前下車
[福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄 道 えちぜん鉄道福井駅ー松岡下車 バスに乗り換え約5分
[福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分 + バス]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅ー(約30分)ー福井大学松岡下車
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・IC から北へ約4km、又は丸岡 IC から南へ約5km
*標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- 電車 大阪・京都ー湖西線經由ー福井
(特急・新幹線で、京都から約1時間15分、大阪から約1時間45分)
- 自動車 大阪・京都ー<名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バス 大阪・京都ー<名神・北陸>ー福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

- 電車 名古屋・静岡ー米原經由ー福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間30分)
- 自動車 名古屋ー<名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(約2時間)
- 高速バス 名古屋ー<名神・北陸>ー福井(約2時間50分)

東京方面から

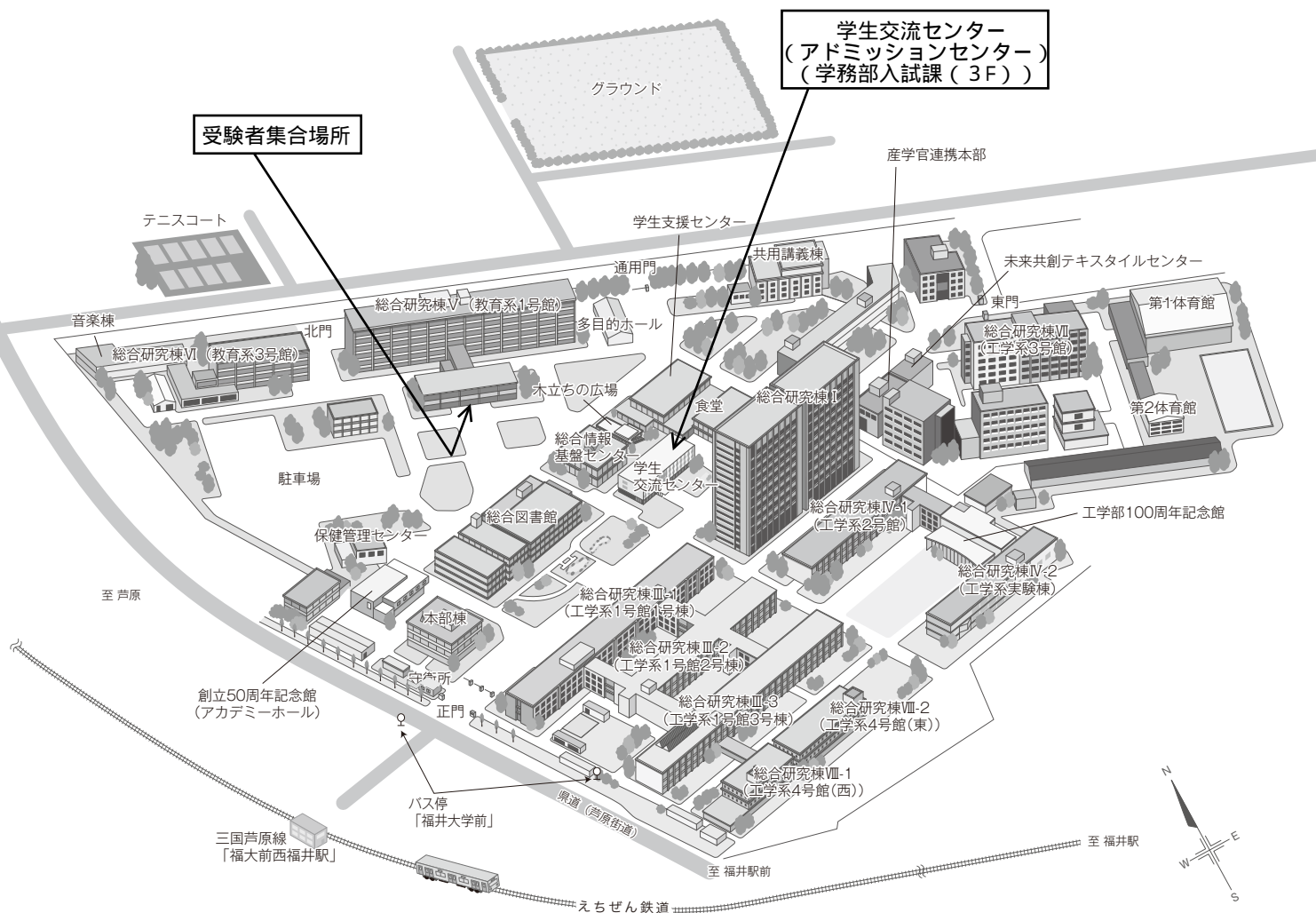
- 飛行機 東京羽田ー小松空港(1時間)ー福井(連絡バス1時間)
- 電車 東京ー福井(新幹線約2時間50分)(直通)
東京ー米原經由ー福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車 東京ー<東名・名神>ー米原JCTー<北陸>ー福井・福井北JCT・IC
(約6時間30分)

金沢・新潟方面から

- 電車 金沢・新潟ー福井(金沢から新幹線で約20分)
- 自動車 金沢ー<北陸>ー丸岡ー福井北JCT・IC(約1時間)



福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京3-9-1

TEL 0776-27-9927

MAIL g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
〔福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>〕
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。